

アラカルト

千歳市環境整備事業協同組合 総務部次長



東海林隆弘さん

shoji takahiro

人（組合士）との出会い

◎組合士を目指して、認定されて～

当組合が平成17年から新規事業となる千歳市の指定管理者を目指す中で、自分も何か勉強しなければと感じていた時に、北海道中央会から毎月届く「ニュースレポート中央会」に掲載された「中小企業組合検定試験」の記事を見て、受験を決意し、3年目に合格できました。

でも、その後が問題でした。

初めの頃は、職場を休んで研修会にも積極的に参加していましたが、時間が経過する中で、何か違うといつも自問するようになったのです。組合士会の役員の方も、皆さん一生懸命取り組まれているのですが、何か違うと感じていました。組合士に登録されてから5年程経過すると、研修会も欠席することがありました。

なぜ、組合士の試験を受けたのだろうか？ 当時を振り返ると「1組合1組合士」と書かれた言葉に、自分の背中を押された気がしました。自分の組合には、まだ組合士がいなかったからです。しかし、「通常総会議案書」を手にするたびにがっかりしたのです。「北海道組合士会」の会員が、毎年のように減少していたからです。

そこで思い切って、自分の考えや思いを文書

で伝えた結果、今は少しずつ変わってきたと感じています。そして、今年の2月には、北海道組合士会の研修会で初めて私が講師をする機会をいただきました。改めて色々と準備に向けて考える時間を持つことができ、北海道組合士会の皆さんには、講師となるチャンスをいただけたことに感謝しています。

組合士に認定されたことにより、それまでの自分にはなかった出会いや経験と学ぶ時間が持てました。組合士でも先輩の方や若い方など職業も多種で、各業界のお話も聞くことができ、試験を受けてよかったと感じています。

◎これから組合士を目指すあなたへ～

皆さんそれぞれが、自分に合った「好きなこと」を見つけたらいいと思います。でも、今は特に目指すものがなくて、周りに「組合士」がない職場の方は、こっそり勉強して受かっちゃうのも悪くないと思います。

「組合士」＝「勉強」ではなく、「組合士」＝「人との出会い」と考えると、少しの投資（時間）で、自分とは違う新たな考え方との出会いを見つけることができ、さらに知識や自信が増えると思います。振り返ると、自分が組合士の試験を諦めなかったのは、北海道組合士会の仲間と出会うためだったと勝手に思っています。

◎組合士の更なる広がりを目指して～

個人的には、全国の「官公需適格組合」と「信用組合」に、100%組合士がいる状況を目指し、その次には、各地域にある「中小企業団体中央会」の全役員企業の職場にも、組合士が在籍していることを目指し、最終的には全国の中小企業団体中央会に参加するすべての組合・企業に、組合士が在籍している景色を見たいと思っています。そして、達成方法はそんなに難しいとは考えていません。皆さんの協力があると「1組合1組合士」が現実になる日も、遠くないものと考えています。